

## 第三者評価結果

### A-1 利用者の尊重と権利擁護

		第三者評価結果
A-1-(1) 自己決定の尊重		
【A1】	A-1-(1)-① 利用者の自己決定を尊重した個別支援と取組を行っている。	a
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>職員は、アセスメントの実施に合わせて利用者と面談し、また、家族に「個別支援計画書 要望受付票」を作成してもらい、利用者の思いや要望を生かし自己決定を尊重した利用者ニーズを個別支援計画に反映している。アセスメントシート(フェイスシート)は、本人の日常生活動作や生活技術、デイ活動の状況などを詳細に確認し本人の希望・要望を聞いて利用者ニーズを把握している。これらの情報を基に個別支援計画を作成(2月)し、半期ごとにモニタリングと検討会議を開催し年度末に計画の見直しを実施している。また、随時利用者の状況の変化に応じて見直しを行っている。</p> <p>日中活動は、受注活動、喫茶ハウス、パン作り、地域活動など利用者の意思・希望・個性を尊重しながら行っている。理美容については出入りの業者よりも地域のお店を利用する利用者が多い。作業場のパーテーションの設置や日常生活に近い女性だけの創作活動の場を設置したり、男女混在の場では着替え室の確保など女性への配慮がきめ細くなされている。</p>		
A-1-(2) 権利擁護		
【A2】	A-1-(2)-① 利用者の権利擁護に関する取組が徹底されている。	a
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>「職員倫理綱領」や「職員行動規範」に、人権擁護に関する職員の行動指針を明示し、また、「人権侵害防止規定」や「虐待対応マニュアル」等を整備し、虐待等が疑われる状況についてフローで明示し、職員の迅速な対応の注意を喚起している。また、クレドを作成して職員一人ひとりが日常的に人権擁護について自身の行動を振り返るようにしている。人権研修を定期的実施し、人権委員会で2か月毎に標語を作成し施設内各所に掲示し注意を喚起している。今年度7,8月の標語は、「違うところ 認め合って 差別なし」である。</p> <p>「みんなの声の箱」を設置し、常時利用者の思いや要望の把握に努め、定期的に家族や人権委員会が立ち合い開錠している。また、職員は利用者からの訴えにタイムリーな相談を心がけることに加え、デイセンターとホームの職員相互で密なコミュニケーションを行うことによって利用者の苦情等の把握と迅速な対応を心掛けている。</p>		

## A-2 生活支援

		第三者評価結果
A-2-(1) 支援の基本		
【A3】	A-2-(1)-① 利用者の自律・自立生活のための支援を行っている。	a
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>利用者ごとに「障害特性シート」を作成し、利用者一人ひとりのコミュニケーション障害、社会性の障害、想像力や感覚障害など本人の行動特性と支援方法について明記している。利用者の障害特性に応じて利用者の自力の生活スタイルの見守りを基本として個別支援計画を策定している。支援の必要性や範囲を本人や家族と話し合って自律・自立課題を盛り込んでいる。自閉傾向の強い利用者については、写真や絵などを活用したスケジュール表を作成して曜日や時間ごとに決めた自立課題を個々に設定している。職員は利用者の個性やこだわりにもきめ細かい配慮を行っている。また、パン等の生産グループでは家族会や職員からの受注生産を行うことで利用者の生き生きとした活動につながっている。日中活動(作業)グループではボールペンの組み立て・包装作業等、工程を細分化してみんなで協力すればできるという意識につながっている。障害特性に応じて、買い物や金銭管理の支援を行い、利用者の地域生活の自立を支援している。</p>		
【A4】	A-2-(1)-② 利用者の心身の状況に応じたコミュニケーション手段の確保と必要な支援を行っている。	a
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>利用者の特性に応じて利用者個々のコミュニケーションの取り方に工夫をしている。個々の障害特性シートのコミュニケーションの障害項目として理解の難しさ、発信の難しさ、やりとりの難しさに対する支援のアイデアが提示されている。目に見えないものの理解や扱いが難しい利用者には理解しやすい言葉や写真、絵、カード等を使った見やすいスケジュールボードを使う等構造化支援アプローチを行っている。自閉的傾向の強い利用者は、パーテーション化が50%を超えており、個々の利用者の居住空間を設けることで、利用者が安心して過ごせるようにしている。デイセンターと生活ホームの職員間で連携して利用者の訴えや意思の表明、苦情の把握に注力している。</p>		
【A5】	A-2-(1)-③ 利用者の意思を尊重する支援としての相談等を適切に行っている。	a
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>利用者個々の相談については、利用者の意思を尊重し随時相談に応じている。その内容を考慮した上でタイムリーに相談に応じている。利用者ごとに担当職員制を採用し、利用者がいつでも話がしやすい雰囲気作りに配慮している。また、法人内の相談支援事業所と連携し、利用者の相談に応じている。</p> <p>内部研修で「意思決定支援」を取り上げ、意思決定支援に関する職員の理解と対応力の強化を図っている。研修終了後の話し合いで、利用者の声をどのように活動に取り入れるか、意思表示できない利用者の思いをどのように汲み取っているか、また、嫌と言える雰囲気づくりをどうするか、良いと思ったことが押し付けではなかったかなど職員の経験を通して話し合ったことが記録されている。職員は利用者の表情や反応を見ながら判断するなど、多くの気づきがあることは、今後の支援に活かす上で大変貴重なものになっているとの認識が共有されている。</p>		
【A6】	A-2-(1)-④ 個別支援計画にもとづく日中活動と利用支援等を行っている。	a
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>個別支援計画策定時の利用者面談で、日中活動のメニューを示し利用者の意向を尊重して選択してもらっており、個々の利用者の支援ニーズを個別支援計画に反映している。余暇やレクリエーション活動は、利用者の意向に基づいて相性にも配慮しながら少人数のグループを編成し、余暇外出支援を実施している。年に2回の厚木市のサポート事業を利用して、ミカン狩りや日帰り温泉旅行等自由度を持たせ、利用者自身にも企画に参加してもらっている。また、自治会等、地域の活動の情報を入手して連携を図っている。個別支援計画は作成後、中間(8月)、年度末(2月)にモニタリングと検討会議を実施しており、支援の状況と成果や見直しと今後の課題等について話し合いを行い、支援内容の検討や見直しを行っている。</p>		

【A7】	A-2-(1)-⑤ 利用者の障害の状況に応じた適切な支援を行っている。	a
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>職員は研修計画に基づく所内外の研修参加や研修参加後の話し合い、及び伝達研修、ケース検討会議等により専門知識の習得と支援の向上を図っている。また、デイセンターでは常勤職員が少なく限られた職員構成の中で職員が受けたい研修を申告する等、年間一人1件の研修を目指して取り組んでいる。障害特性シートを活用して利用者の行動特性など情報を共有し、また、障害特性に応じた専門性の高い利用者支援を目指し、個別支援計画や日常生活支援マニュアルへ反映させている。行動障害等個別的な配慮が必要な利用者には環境整備を行ったうえで、それでも行動制限が必要な場合は身体拘束等行動制限に関する取扱い要綱に基づき、計画書、家族や身元引受人等の承諾書、報告書、実施記録を整え、必要最低限の範囲で行っている。精神疾患のある利用者の方の場合、ホーム職員を含めたケース検討会議を実施し、必要に応じて医療対応を行っている。</p>		
A-2-(2) 日常的な生活支援		
【A8】	A-2-(2)-① 個別支援計画にもとづく日常的な生活支援を行っている。	a
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>個別支援計画の支援目標に沿って日々の生活支援を行っている。月例給食委員会を設置し個人の障害特性や嗜好に配慮した食事支援に努め、また、摂食時の事故防止に努めている。利用者の体調の変化に対応し、担当職員からの当日の食事形態や献立の変更要求に個別に対応している。今年6月の給食委員会の議事録に、利用者の嚥下障害に関するヒヤリハットのケースをとりあげ、医師を含めたカンファレンスの必要性と事故防止の対策について記述している。</p> <p>毎月行事食を提供し利用者が楽しく食事ができるように配慮している。利用者ごとの食物アレルギーリストを整備し個々に食材をチェックし事故防止に努めている。また、服薬に応じた代替品の食事提供やカロリー制限の利用者のご飯の量の調整等を行っている。排泄介助については失禁の清拭や個々の状況に応じた排泄支援を行っている。</p>		

【A9】	A-2-(3)-① 利用者の快適性と安心・安全に配慮した生活環境が確保されている。	a
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>自閉傾向の強い利用者については個々人の特性に応じてパーティションで囲った空間を整備し、一人ひとりが落ち着いて安心して過ごせる空間が確保されている。</p> <p>施設の食堂等の供用空間は、パート職員を配置し毎日清掃し清潔である。トイレは毎日職員が清掃し、また、コロナ禍の状況に特に注意し、午前・午後にトイレのドアノブ、手すり、蛇口、洗面台、等を消毒し、また、常時換気に注意している。日中作業場は毎日作業の終了時に利用者全員と職員と一緒に清掃を行っている。設備点検チェックリストを用いて年2回職員が安全点検を実施し、転倒防止等の予防対策を実施している。</p>		
A-2-(4) 機能訓練・生活訓練		
【A10】	A-2-(4)-① 利用者の心身の状況に応じた機能訓練・生活訓練を行っている。	b
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>機能訓練や生活リハビリを必要とする利用者がほとんどいないこともあり、専門性を生かしたりハビリ支援は限られている状況である。利用者や家族の要望に応じて協力医院の理学療法士(PT)が施設を訪問し利用者1名の機織り後の壁立ちや両手腕上げ、スクワットのリハビリプログラムを実施している事例がある。利用者の高齢化の傾向の中で、今後骨折防止等対策の体操や生活リハビリプログラムの整備と対策が今後の課題である。</p>		
A-2-(5) 健康管理・医療的な支援		
【A11】	A-2-(5)-① 利用者の健康状態の把握と体調変化時の迅速な対応等を適切に行っている。	a
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>年に2回4月と10月に定期内科検診と身体計測を実施している。年1回定期歯科検診を実施している。個々の利用者の「緊急時連絡カード」を整備し利用者の服薬状況や受診歴を明記し受診や緊急時の対応に備えている。また、「健康チェックリスト」を用いて日々の利用者の検温、食欲、排便、嘔吐及び体調の変化の様子等を記録している。</p> <p>毎月1回法人全体の「衛生健康委員会」を開催し、季節ごとの健康管理ポスターを作成している。今年度は、コロナウイルス・食中毒予防に最適な手洗いの方法を明示したポスターを作成し施設内各所に掲示し、利用者及び職員への注意を喚起している。</p>		
【A12】	A-2-(5)-② 医療的な支援が適切な手順と安全管理体制のもとに提供されている。	
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>非該当</p>		

A-2-(6) 社会参加、学習支援		
【A13】	A-2-(6)-① 利用者の希望と意向を尊重した社会参加や学習のための支援を行っている。	a
<コメント> 日中活動の一環として利用者への社会参加を目的とした各種支援を行っている。地域活動として地域の玉川周辺の清掃や草刈り、市管理ハイキングコースの清掃、樹木剪定等を行っている。ボールペンなど日中作業の受注作業製品の納品に利用者が同伴し、自分たちが頑張ることに対する達成感を感じることができるように配慮している。また、毎年「えがおの個展」を厚木駅まで開催し、施設の利用者が制作した藍染絞りの作品、紙漉き作品などを展示している。「えがおの個展」実行委員会に利用者が参加し、また、個展開催期間中の店番を利用者が担当している。施設内の喫茶ハウスでは、一般の喫茶店と同じようにコーヒー等の販売を行い、利用者の社会体験を支援している。 月に2回コンビニやスーパーが施設を訪問販売に訪れている。利用者は自身の欲しい買物を自由に購入している。利用者の金銭管理や社会体験の広がりにつながっている。		
A-2-(7) 地域生活への移行と地域生活の支援		
【A14】	A-2-(7)-① 利用者の希望と意向を尊重した地域生活への移行や地域生活のための支援を行っている。	a
<コメント> デイセンターつくしの利用者は地域の生活ホームや地域の家庭の住人である。すでに地域生活への移行を果たし、また地域で生活している人たちである。地域の家族の送迎時間等に配慮し活動時間を延長し家族を支援し地域で住みやすい環境の維持に努めている。また、施設の運営方針に地域で行っている障害者の通所体験を支援している。高齢化が進む地域の利用者の家族のレスパイトを目的にした、法人の入所施設のショートステイの紹介等を実施している。		
【A15】	A-2-(8)-① 利用者の家族等との連携・交流と家族支援を行っている。	a
<コメント> 通所している地域の家族や生活ホームとは連絡ノートを活用し相互のコミュニケーションを図り、家族の相談事や要望に対応している。また、年5回開催のすぎな家族会と理事・施設長参加の三者例会や年3回の家族懇談会を実施しているがコロナ禍の中で滞りの状況である。コロナ禍に配慮し家族の面談に際しては、施設を訪問してもらいタブレット端末を介したりリモート面談を実施したり、オンライン会議アプリを使った相互に顔の見える面談を実施している。		

### A-3 発達支援

		第三者評価結果
A-3-(1) 発達支援		
【A16】	A-3-(1)-① 子どもの障害の状況や発達過程等に応じた発達支援を行っている。	
<コメント> 評価外		

A-4 就労支援

		第三者評価結果
A-4-(1) 就労支援		
【A17】	A-4-(1)-① 利用者の働く力や可能性を尊重した就労支援を行っている。	
<コメント> 評価外		
【A18】	A-4-(1)-② 利用者に応じて適切な仕事内容等となるように取組と配慮を行っている。	
<コメント> 評価外		
【A19】	A-4-(1)-③ 職場開拓と就職活動の支援、定着支援等の取組や工夫を行っている。	
<コメント> 評価外		